



東京2020大会の開催概要・準備状況について

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

企画財務局 アクション&レガシー部 藤田 善三

目次

- 1.Road to Tokyo 2020
- 2.東京2020大会の概要
- 3.競技会場
- 4.競技スケジュール
- 5.大会チケット
- 6.ボランティア
- 7.テストイベント
- 8.みんなのメダルプロジェクト
- 9.聖火リレー
- 10.東京2020 NIPPONフェスティバル
- 11.開会式・閉会式
- 12.東京2020参画プログラム

1 Road to Tokyo 2020 ~ みんなで作る2020 ~

	(2018年12月時点)	2018年度			2019年度			2020年度		
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~3月
大会運営等	<p>◆競技関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年7月にオリンピック、9月にパラリンピックのセッションスケジュールを公表。 2020年春頃に詳細な進行表を決定。 <p>◆テストイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年10月にテストイベントのスケジュール第1弾、11月に第2弾を公表。 2019年6月より順次実施予定。 <p>◆聖火リレー/入賞メダル</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年には聖火リレーのルートやランナー等について公表予定。 2019年の大会1年前にメダルデザイン発表予定。 <p>◆ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年9月から応募フォームにて募集を開始。12月19日9時半時点で15万3012人が応募完了。 2019年2月からオリエンテーションを実施し、2020年3月以降、役割・会場を通知 <p>◆大会サービス(輸送・警備・飲食等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 選手・観客等の輸送ルート(道路・公共交通)及びその運用について精緻化を図る。 安心、安全に加え、円滑な入場を実現するため、大会史上初となる顔認証システム導入予定。 	<p>▼調整委員会(年2回開催予定) 【3/12】オリ500日前 ▼</p> <p>▼オリ【年末頃】イベントスケジュール決定</p> <p>▼パラ【春頃】イベントスケジュール決定</p> <p>【12月21日17時】ボランティア応募締め切り</p> <p>▼【12月】警備ガイドライン完成 ▼【1月頃】各競技会場医療責任者指名</p> <p>関係者向けチケット申込受付開始</p> <p>▼【11月】国連とSDGs推進に向けた基本合意書を署名</p> <p>▼【12月】飲食事業者が決定</p>	<p>▼【4/13】パラ500日前</p> <p>▼【春頃】イベントスケジュール決定</p> <p>【2019年中】トーチ・ルート、ランナーについて公表</p> <p>▼【1月頃】ネーミング発表</p> <p>▼【2月~7月】オリエンテーション</p> <p>▼【500日前】コアグラフィックス展開 ▼【春頃】大会ルック発表</p> <p>▼【春頃】選手村運営計画決定</p>	<p>▼【7/24】オリ1年前 ▼</p> <p>▼【8/25】パラ1年前</p> <p>▼【7月頃】オリ入賞メダルデザイン発表</p> <p>▼【8月頃】パラ入賞メダルデザイン発表</p> <p>▼【4月頃】持続可能性報告書V1提出</p> <p>▼【春頃】選手村運営計画決定</p> <p>▼【春頃】宿泊棟内装や仮設施設の設計・工事</p>	<p>▼【9/20~11/2】ラグビーワールドカップ ユースオリンピック冬季大会(ローザンヌ)</p> <p>▼【10~12月】ユースオリンピック冬季大会(ローザンヌ)</p> <p>▼【10~12月】ユースオリンピック冬季大会(ローザンヌ)</p> <p>▼【年末頃】輸送運営計画V2を策定</p> <p>▼【年末頃】飲食メニュー決定</p> <p>▼【3月頃】持続可能性報告書V2提出</p> <p>▼【3月頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【5/17】パラ100日前 ▼【4/15】オリ100日前</p> <p>▼【春頃】DCAS(競技運営のための詳細な進行表)決定</p> <p>▼【3月~】役割・会場の通知</p> <p>▼【大会前】全自主警備計画の完成</p> <p>▼【春頃】会場運営計画V2を策定 GSCC(大会警備本部)の運用開始</p> <p>▼【春頃】シフトレッシング開始 ▼【春頃】都市ルック開始</p> <p>▼【2019年度中】スペクタキュラー設置</p> <p>▼【春頃】大会期間 ライフサイト</p> <p>▼【2020年春頃】東京2020 NIPPON フェスティバル</p>	<p>▼【東京2020大会 オリ:7/24~8/9 パラ:8/25~9/6</p> <p>【オリ・パラ間】聖火リレー(パラ)</p> <p>▼【大会期間中】持続可能性報告書V3提出</p> <p>▼【大会期間】ライブサイト</p> <p>▼【大会期間 7月~9月】選手村開村、開村</p>	<p>▼【大会期間中】持続可能性報告書V3提出</p> <p>▼【大会期間】ライブサイト</p> <p>▼【大会期間 7月~9月】選手村開村、開村</p>	<p>▼【大会期間中】持続可能性報告書V3提出</p> <p>▼【大会期間】ライブサイト</p> <p>▼【大会期間 7月~9月】選手村開村、開村</p>	
機運醸成等	<p>◆チケット</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年7月よりチケット事前登録キャンペーンを実施中。 2019年春頃よりオリンピック、夏頃よりパラリンピックの一般販売を開始予定。 <p>◆参画推進等</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年4月から「東京2020 NIPPON フェスティバル」を全国展開予定。 2018年10月東京2020オリンピック公式映画の監督に河瀬直美さんが就任。 大会史上初めて、国際連合とSDGs推進に向けた基本合意書を締結。 	<p>▼【500日前】コアグラフィックス展開 ▼【春頃】大会ルック発表</p> <p>▼【夏頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】大会モットー発表</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>
インフラ整備	<p>◆競技会場(一般的なスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約締結後、実施設計、仮設オーバーレイ工事を実施。 <p>◆選手村</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年12月に、飲食提供事業者が決定。 「日本の木材活用リレー ~ みんなで作る選手村ヒレジブラザー ~」を実施中。 	<p>実施設計</p> <p>▼【12月】飲食事業者が決定</p>	<p>▼【春頃】選手村運営計画決定</p> <p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>	<p>▼【春頃】選手村開村、開村</p>

スポーツには 世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」、

「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、

「そして、未来につなげよう(未来への継承)」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、

世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

2-2 東京2020大会の概要

競技日程

オリンピック (17日間)

7月24日

~8月9日

パラリンピック (13日間)

8月25日

~9月6日

選手数

オリンピック

11,090人

パラリンピック

4,400人

競技数・種目数

オリンピック

33競技 339種目

パラリンピック

22競技 540種目

会場

全数

43会場

うち
都外

18会場



職員数

現在 (2019年1月時点)

2.0千人

大会時 (予定)

8.0千人

ボランティア

11万人

大会ボランティアのほか、
都市ボランティアを含む。

2-3 東京2020大会の概要



参加国

(リオ大会ベース)

オリンピック

206カ国・地域

パラリンピック

160カ国・地域



チケット売り上げ
(立候補ファイルベース)

820億円



スポンサー数

(2月16日時点)

70/66社

(オリンピック/パラリンピック)

TOPパートナー(13社/4社)
ゴールドパートナー(15社/19社)
オフィシャルパートナー30社/30社
オフィシャルサポーター(12社/13社) 5

メディア数 (想定)

オリンピック

25,800人

パラリンピック

9,500人

観客数 (予定)

オリンピック

780万人

パラリンピック

230万人

3 競技会場

- ・ 競技は東京1964大会のレガシーを引き継ぐ**ヘリテッジゾーン**、都市の未来を象徴する**ベイゾーン**のほか、**地方会場**で実施。（約**40%**が地方会場での開催。）
- ・ 2018年5月までに新たに競技会場が決定され、最終的にオリンピックは**42会場（33競技）**、パラリンピックは**21会場（22競技）**となった。
- ・ 青海、お台場、有明地区において、祝祭空間を創出する**アーバンクラスター構想**が進展。
- ・ 晴海に選手団が宿泊する**選手村**を建設。

<競技会場例>

福島あづま球場（野球・ソフトボール）



選手村予定地（東京都中央区晴海）

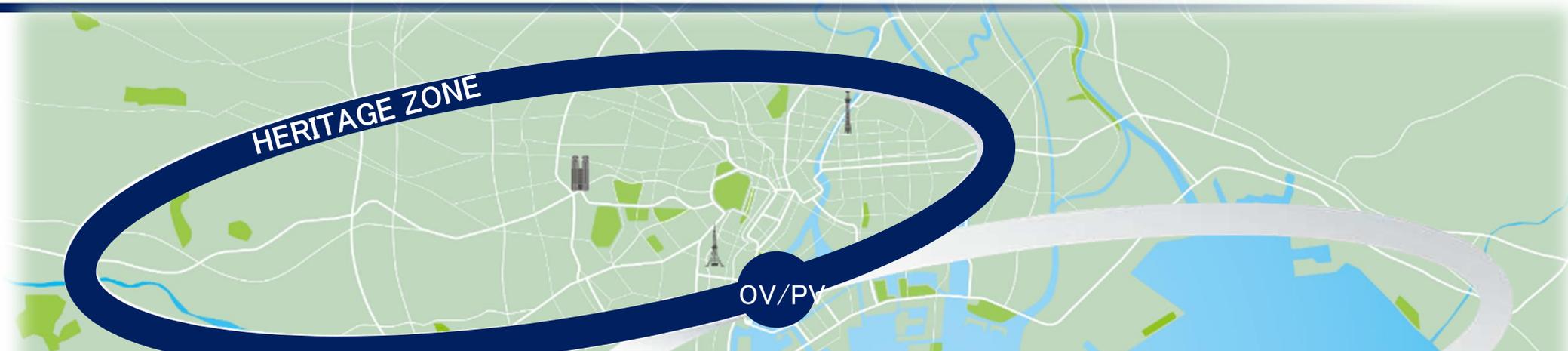


会場詳細は、東京2020組織委HPを参照
<https://tokyo2020.org/jp/games/venue/>

3-2 既存施設の利用と新たな施設



3-3 現在の会場配置① ヘリテージゾーンの競技会場



会場	競技	
	オリンピック	パラリンピック
オリンピックスタジアム	陸上競技、サッカー	陸上競技
国技館	ボクシング	
国立代々木競技場	ハンドボール	バドミントン、車いすラグビー
日本武道館	柔道、空手	柔道
皇居外苑	陸上競技(競歩)	
武蔵野の森総合スポーツプラザ	バドミントン、近代五種(フェンシング)	車いすバスケットボール
東京スタジアム	サッカー、ラグビー、近代五種(水泳、フェンシング、馬術、レーザーラン)	
武蔵の森公園	自転車競技(ロード)(ロードレース・スタート)	
東京体育館	卓球	卓球
東京国際フォーラム	ウェイトリフティング	パワーリフティング
馬事公苑	馬術(馬場馬術・総合馬術・障害馬術)	馬術

3-4 現在の会場配置② ベイゾーンの競技会場

会場	競技	
	オリンピック	パラリンピック
夢の島公園アーチェリー場	アーチェリー	アーチェリー
東京アクアティクスセンター	水泳(競泳・飛込・アーティスティックスイミング)	水泳
東京辰巳国際水泳場	水泳(水球)	
海の森クロスカントリーコース	馬術(総合馬術・クロスカントリー)	
海の森水上競技場	カヌー(スプリント)、ボート	カヌー、ボート
カヌー・スラロームセンター	カヌー(スラローム)	
大井ホッケー競技場	ホッケー	

会場	競技	
	オリンピック	パラリンピック
有明体操競技場	体操	ボッチャ
有明テニスの森	テニス	車いすテニス
有明アリーナ	バレーボール(バレーボール)	車いすバスケットボール
有明BMXコース	自転車競技(BMX)、スケートボード	
潮風公園	バレーボール(ビーチバレーボール)	
青海アーバンスポーツパーク	バスケットボール(3×3)、スポーツクライミング	5人制サッカー
お台場海浜公園	水泳(マラソンスイミング)、トライアスロン	トライアスロン
幕張メッセ(千葉県)	フェンシング、テコンドー、レスリング	シットイングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング、ゴールボール



3-5 現在の会場配置③ その他エリアの競技会場

会場	道府県	競技	
		オリンピック	パラリンピック
札幌ドーム	北海道	サッカー	
宮城スタジアム	宮城県	サッカー	
福島あづま球場	福島県	野球・ソフトボール	
茨城カシマスタジアム	茨城県	サッカー	
霞ヶ関カンツリー倶楽部	埼玉県	ゴルフ	
陸上自衛隊朝霞訓練場		射撃	射撃
さいたまスーパーアリーナ		バスケットボール	
埼玉スタジアム2002		サッカー	
幕張メッセ	千葉県	フェンシング、テコンドー、レスリング	シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング、ゴールボール
釣ヶ崎海岸サーフィン会場	神奈川県	サーフィン	
江の島ヨットハーバー		セーリング	
横浜国際総合競技場		サッカー	
横浜スタジアム		野球・ソフトボール	
伊豆ベロドローム	静岡県	自転車(トラック)	自転車競技(トラック)
伊豆MTBコース		自転車(マウンテンバイク)	
富士スピードウェイ		自転車(ロード(ロードレース・ゴール、個人タイムトライアル))	自転車競技(ロード)(スタート・ゴール)

4 競技スケジュール（オリンピック）

競技スケジュールの策定

- ・オリンピック各競技のセッションスケジュールを公表(2018年7月、9月)。
- ・スケジュールの詳細(種目ごとの日程など)を現在策定中

主な競技スケジュール



○競泳

7月25日（土）～8月2日（日）



○体操競技

7月25日（土）～7月30日（木）
8月2日（日）～8月4日（火）



○ラグビー

7月27日（月）～8月1日（土）

- ・19日間に及ぶ、史上最多33競技339種目を42の競技会場で実施。
- ・日本各地で競技が行われ、より多くの方々に大会の熱気を感じて頂く。

4-2 競技スケジュール (パラリンピック)

競技スケジュールの策定

史上最多4,400名※の世界のパラリンピアンによる、12日間の戦いのセッションスケジュールが決定(2018年10月)。

主な競技スケジュール



○車いすテニス
8月28日(金)～9月5日(土)



○車いすラグビー
8月26日(水)～8月30日(日)



○ゴールボール
8月26日(水)～9月4日(金)

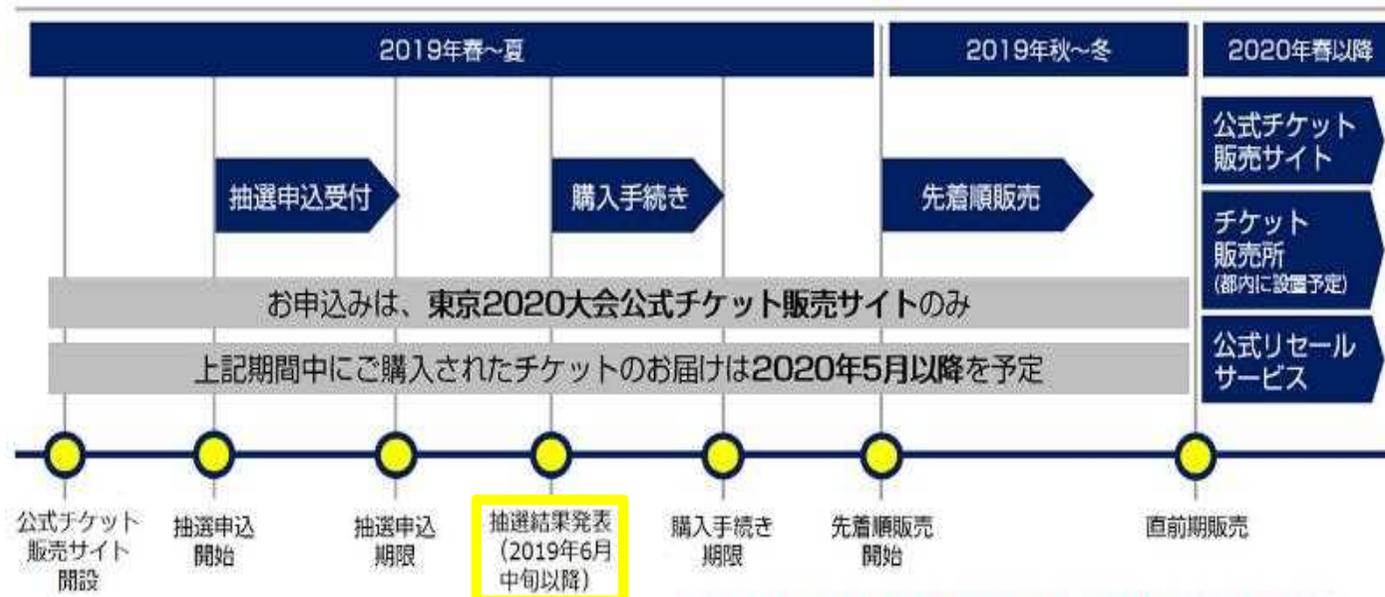
- ・ 8月25日の開会式翌日から9月6日の閉幕まで、12日間にわたり22競技540種目が21会場で実施。
- ・ 大会全体を通じて盛り上がりが続くよう、人気競技がバランスよく配置。

※選手数の上限

5 大会チケット

史上最大級のチケットティング・イベント (プロ野球 1 球団の4～5年分のチケットを約1ヶ月間で取扱うプロジェクト)

2019年春に、全セッションの抽選申込受付を開始します！



※公式チケット販売サイト・購入方法の詳細は2019年春に発表予定です
※詳細なセッションスケジュールは、公式チケット販売サイトをご確認下さい
※販売スケジュールは変更になる場合がございます

6 ボランティア

● 応募総数

・応募完了者数204,680人
(大会ボランティアマイページ登録者数262,437人)

- ・男女比:男性36%、女性64%
- ・国籍:日本国籍64%、日本国籍以外36%
- ・11日以上の活動を希望する方が6割を超える
- ・各世代バランスよく応募

● オリエンテーションの実施

2019年2月9日～7月頃まで、オリンピック・パラリンピックの雰囲気を感じ、チームワークを高めていただくために、面談を含むオリエンテーションを実施

● ボランティアのネーミング

大会スタッフ・ボランティア ネーミング

Field Cast

フィールド キャスト

都市ボランティア ネーミング

City Cast

シティ キャスト

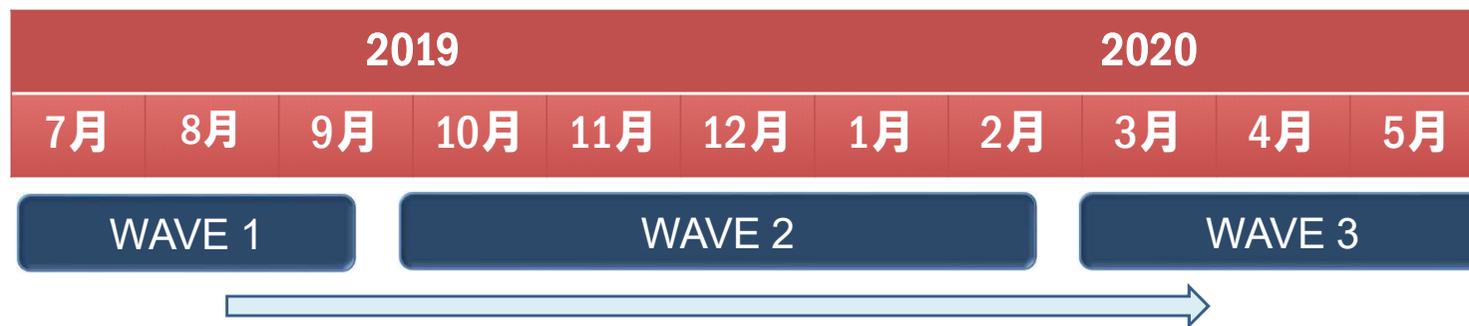


競技場などで選手と関わりながら活躍する人、そして、競技場と競技場を結ぶ街でみなさんと関わりながら活躍する人がいます。ボランティアひとりひとりに、大会を盛り上げる重要な役割を担ってほしい。そんな願いをキャスト（配役）という言葉に込めました。

7 テストイベント

- オリンピック・パラリンピックの本大会の成功に向けて、競技運営及び大会運営の能力を高めることを目的として、大会1年前から実施。
- FOP(Field Of Play)、計時・計測、運営に関わるスタッフのテストが主要な項目。
- テストイベントは、各競技団体主催のもの、東京2020組織委員会が主催で実施するものがある。

スケジュール



WAVE 1 : 屋外競技を中心に夏季（本番と同月）にテストを実施（マラソン、ゴルフ等）

WAVE 2 : 屋内競技を中心にテストを実施（柔道、卓球等）

WAVE 3 : 指揮命令系統の最終確認を目的としたテストを実施（陸上競技、水泳競泳等）



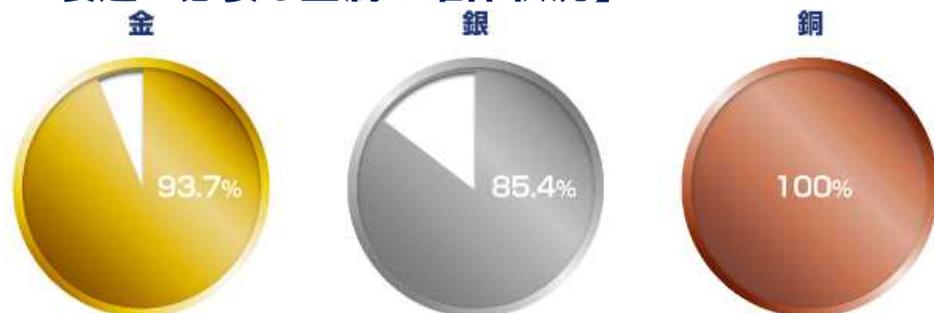
東京2020組織委員会主催のテストイベントロゴデザイン。
名称：“READY STEADY TOKYO”(読み方:「レディ、ステディ、トウキョウ」)

8 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

オリンピック・パラリンピック史上初の取り組み！リサイクル率100%を目指す！

使用済み携帯電話等の小型家電から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施。このプロジェクトを通じて、金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作予定。

【メダル製造に必要な金属の確保状況】

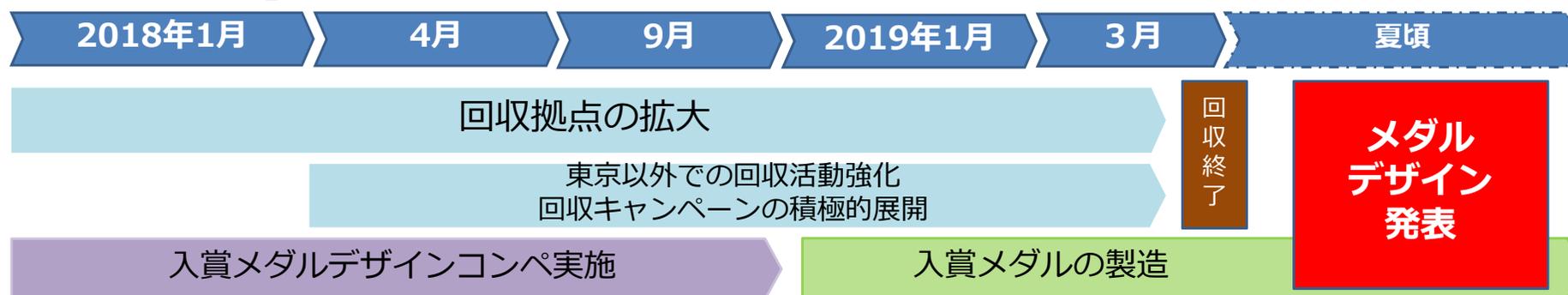


※最終的な納入量に対する納入済み金属量および2018年10月末までの小型家電等の回収量に基づく納入見込み量の合計の割合

※銅については2018年6月までの回収量で100%を達成

- 全体の約9割にあたる1,594の自治体、パートナー企業等が回収に参加
- メダル製作に必要な金属量を確保できる見通しが立ったため、2019年3月31日を持って回収を終了
- 2019年夏頃に予定しているデザイン発表に向けて、メダルデザインコンペティション(421名エントリー)をはじめ、平面デザイン審査や、立体デザイン審査を複数回実施。

【スケジュール(イメージ)】



9 聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレー



- 復興オリンピックの趣旨を踏まえ、2020年3月20日から3月25日に、宮城県、岩手県、福島県の順番で各2日間「復興の火」を展示。
- 3月26日のグランドスタート会場を福島県「ナショナルトレーニングセンター」ヴィレッジとし、移動日を含む121日間かけて、日本全国を回る。



東京2020オリンピック
聖火リレーコンセプト



東京2020オリンピック
聖火リレートーチ

東京2020パラリンピック聖火リレー



- 大会を契機に共生社会を実現すべく、人と人、人と社会との、“新しいパートナーシップ”を考えるきっかけとなることを目指す。
- 「はじめて出会う3人」がチームになってリレーを実施（具体的なランナー選考基準・選考方法等は、2019年秋頃に決定する予定）



東京2020パラリンピック
コンセプト



東京2020パラリンピック
聖火リレートーチ 17

9-2 聖火リレー

- ・オリンピック聖火リレーコンセプト 「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」
- ・パラリンピック聖火リレーコンセプト 「あなたは、きっと、誰かの光だ。Share Your Light」

ギリシャ聖火式から日本に聖火が到着するまで

(参考) 東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧

3/12(木)
ギリシャ古代オリンピア市 聖火採火式

3/12(木)~3/19(木)
ギリシャ国内聖火リレー

3/19(木)
ギリシャアテネ市にて聖火引継式

3/20(金)
宮城県航空自衛隊松島基地に到着

3/20(金)~25(水)
宮城・岩手・福島で「復興の火」として展示



福島県から日本全国を回る
東京2020オリンピック聖火リレーがスタート!

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/26(木)~3/28(土)	①7 鹿児島県	4/28(火)~4/29(水)	③3 富山県	6/3(水)~6/4(木)
② 栃木県	3/29(日)~3/30(月)	①8 沖縄県	5/2(土)~5/3(日)	③4 新潟県	6/5(金)~6/6(土)
③ 群馬県	3/31(火)~4/1(水)	①9 熊本県	5/6(水)~5/7(木)	③5 山形県	6/7(日)~6/8(月)
④ 長野県	4/2(木)~4/3(金)	②0 長崎県	5/8(金)~5/9(土)	③6 秋田県	6/9(火)~6/10(水)
⑤ 岐阜県	4/4(土)~4/5(日)	②1 佐賀県	5/10(日)~5/11(月)	③7 青森県	6/11(木)~6/12(金)
⑥ 愛知県	4/6(月)~4/7(火)	②2 福岡県	5/12(火)~5/13(水)	③8 北海道	6/14(日)~6/15(月)
⑦ 三重県	4/8(水)~4/9(木)	②3 山口県	5/14(木)~5/15(金)	③9 岩手県	6/17(水)~6/19(金)
⑧ 和歌山県	4/10(金)~4/11(土)	②4 島根県	5/16(土)~5/17(日)	④0 宮城県	6/20(土)~6/22(月)
⑨ 奈良県	4/12(日)~4/13(月)	②5 広島県	5/18(月)~5/19(火)	④1 静岡県	6/24(水)~6/26(金)
⑩ 大阪府	4/14(火)~4/15(水)	②6 岡山県	5/20(水)~5/21(木)	④2 山梨県	6/27(土)~6/28(日)
⑪ 徳島県	4/16(木)~4/17(金)	②7 鳥取県	5/22(金)~5/23(土)	④3 神奈川県	6/29(月)~7/1(水)
⑫ 香川県	4/18(土)~4/19(日)	②8 兵庫県	5/24(日)~5/25(月)	④4 千葉県	7/2(木)~7/4(土)
⑬ 高知県	4/20(月)~4/21(火)	②9 京都府	5/26(火)~5/27(水)	④5 茨城県	7/5(日)~7/6(月)
⑭ 愛媛県	4/22(水)~4/23(木)	③0 滋賀県	5/28(木)~5/29(金)	④6 埼玉県	7/7(火)~7/9(木)
⑮ 大分県	4/24(金)~4/25(土)	③1 福井県	5/30(土)~5/31(日)	④7 東京都	7/10(金)~7/24(金)
⑯ 宮崎県	4/26(日)~4/27(月)	③2 石川県	6/1(月)~6/2(火)		

・東日本大震災被災3県(岩手、宮城、福島)、複数種目を実施する4県(埼玉、千葉、神奈川、静岡)については、各県3日を設定。これらの県と東京都以外は各2日とする。(移動日を含め合計121日)

・ルート : 47都道府県を回り、多くの人々が見に行くことができ、安全確実に実施可能な場所

・ランナー : 国籍、障がいの有無、性別、年齢等のバランスを配慮し、幅広い分野から選定

→ルート・ランナー選定などは各都道府県の実行委員会が実施

パラリンピック聖火リレーについては現在検討中

10 東京2020 NIPPONフェスティバル

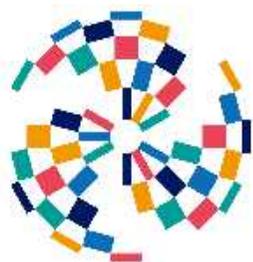
東京2020 NIPPONフェスティバル

(2020年4月頃～9月頃)

▶ 聖火リレーが始まり、世界からの注目が東京・日本へ大きく集まるこの時期に、国・自治体・文化団体等と連携し日本の文化・芸術の力を国内外に発信する文化フェスティバルを全国で展開。



マーク/キャッチフレーズ



東京2020
NIPPON
フェスティバル

Blooming of Culture

文化は、出会いから花開く。

事業体系

主催

組織委員会が行う4つの文化プログラム

- ① **大会に向けた祝祭感** (キックオフ)
- ② **参加と交流** (オリンピック直前)
- ③ **共生社会の実現** (パラピック直前)
- ④ **東北復興** (2020年5月～7月)

+

共催

自治体等が行う特別な
文化プログラム

11 開会式・閉会式



11 開会式・閉会式

4式典を一体と捉え、統一あるものとするために全体のプラン・ストーリーを作成していく。

<4式典のあり方>

【オリンピック開会式】

- ・国内外からの注目度が非常に高い式典であり、世界から集うアスリートや観客を歓待する。
- ・東京2020大会の幕開けの式典として4つの式典の萌芽である。
- ・東京2020大会の担う歴史的意義や社会的意義、招致時のコンセプトに鑑みて4式典を貫くポジティブなメッセージを世界に発信する。

【パラリンピック開会式】

- ・東京は二度目の夏季パラリンピックを開催する史上初の都市であり、中でも開会式は世界中の注目を集める機会である。
- ・違いを認め合い、支え合い、活かすあうことで、多様で平等な共生社会を目指すことを世界に伝える。
- ・多様なものを様々にかけ合わせることで、既成概念を超えた新しい可能性を探り、人々の意識を変えるきっかけにする。

【オリンピック閉会式】

- ・競技を終えたアスリートの健闘を称える。また、アスリートに限らず、人々の心に感動を残した方々も讃えたい。
- ・アスリートだけでなく観客も巻き込み、国を超えた一体感を生み出す。
- ・その熱気と興奮を、続いて開催されるパラリンピックへと引き継ぐ。

【パラリンピック閉会式】

- ・パラリンピックのフィナーレであるとともに、東京2020大会の全体を締めくくるフィナーレでもある。
- ・持続可能な社会に向けて、「和」の精神に基づき、自然や人間社会がバランスをとり、共存していく新しい時代のスタートラインとする。
- ・世界の調和と明るい未来への可能性を示し、子どもたちや若い世代への継承の場とする。

<演出企画の実施体制> (敬称略)

氏名	肩書等	制作体制
野村萬斎	狂言師	チーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター (東京2020大会総合)
山崎貴	映画監督	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター (オリンピック担当)
佐々木宏	クリエイティブ・ディレクター	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター (パラリンピック担当)

氏名	肩書等	制作体制
川村元気	映画プロデューサー／小説家	クリエイティブ・ディレクター (東京2020総合チームメンバー)
来栖良依	クリエイティブプロデューサー クリエイティブディレクター	
椎名林檎	演出家・音楽家	
菅野薫	クリエイティブディレクター クリエイティブテクノロジスト	
MIKIKO	演出振付家	

12 東京2020参画プログラム

東京2020大会ビジョン

ビジョンの提示

スポーツには世界と未来を変える力がある。
すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)、
一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)、
そして、未来につなげよう(未来への継承)

アクション&レガシープラン

アクションやレガシーの方向性等を提示

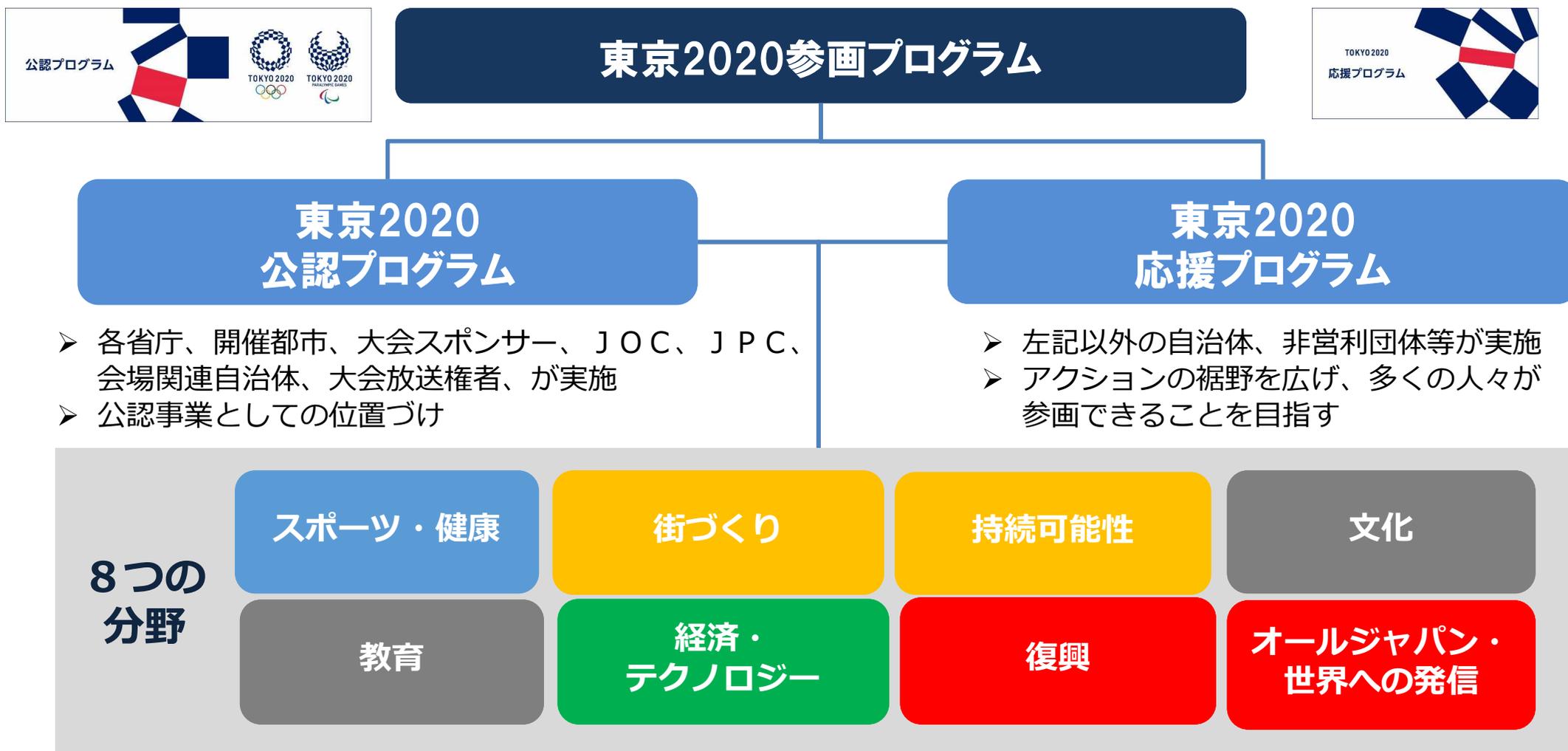
東京2020大会に参画しよう。そして、未来につなげよう。
一人でも多くの方が参画【アクション】し、大会をきっかけにした
アクションの成果を未来に継承【レガシー】するためのプラン

東京2020 参画プログラム

様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを
持ちながら、大会開催に向けた機運醸成やレガシー創出に向けた
アクション(イベント、事業等)を実施できる仕組み

組織・団体のアクションへの認証・マーク付与

12-2 東京2020参画プログラムの枠組み



12-3 東京2020参画プログラムの対象団体

<公認プログラム>

- 政府（各府省庁）
- 開催都市（東京都・区市町村）
- 大会スポンサー
- JOC、JPC
- 会場関連自治体（道県・市町）
- 大会放送権者

<応援プログラム>

公共関連

市町村（会場関連自治体を除く）

地域関連

自治会・町内会等、商店街
（自治体による主体登録が必要）

スポーツ関連

国内競技団体、体育協会等

学校関連

連携大学、その他の大学、高専、専修・各種
学校（国公立、学校法人・準学校法人）

経済関連

商工会議所、商工会、経済界協議会（※）

国際関連

国際機関、大使館

公益法人等

公益財団・社団、認定NPO、社会福祉法人、
独立行政法人・特殊法人（除く株式会社）等

その他

一般財団・社団、NPO 等
（公的団体等による主体者確認書の提出が必要）

※構成団体：日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

12-4 東京2020参画プログラムの目指すこと

参画プログラムは、**4つのつながり** をもたらします。

① 東京2020大会

アクション主催者・参加者等に
東京2020大会への参画機会を創出

② 地域

地域が連携して機運を
盛り上げていく機会を創出

③ 全国

組織委員会からの情報発信を通じ、
活動の知名度向上と他団体等との連
携に向けた機会を創出

④ 未来

多くの参画、継続的な実施等を
通じて、未来(レガシー)に
つながる機会を創出

12-5 大会の知的財産

■ **主な**大会の知的財産



オリンピックシンボル



TOKYO 2020

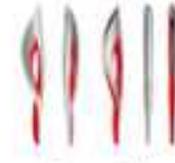
大会エンブレム



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES



メダル



トーチ



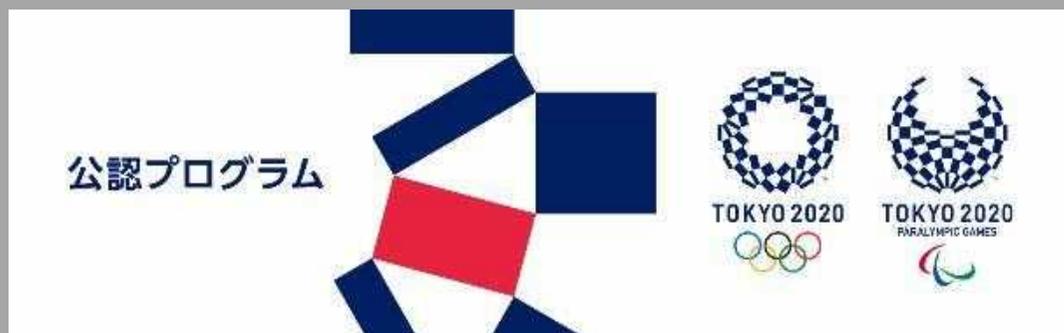
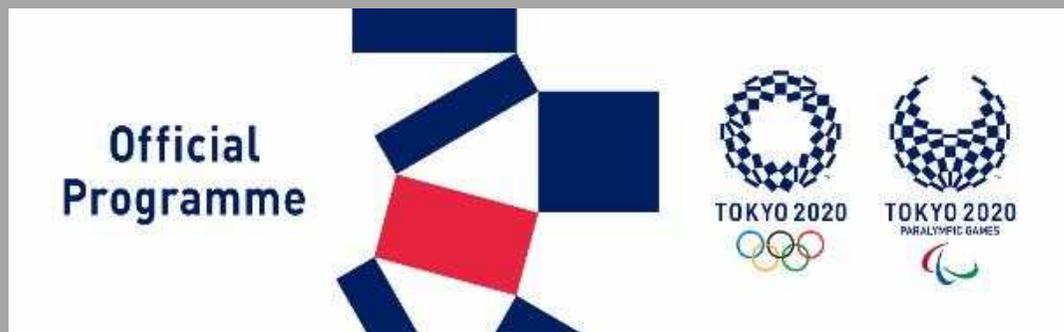
JOC第1エンブレム

- 用語:「オリンピック」「パラリンピック」「オリンピアド」
- モットー:「より速く、より高く、より強く」「スピリッツ イン モーション」
- 呼称:「Tokyo 2020」「東京2020」「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」

大会に関連(想起させるもの含む)するマーク・イラスト・映像・
デザイン・用語・名称などは知的財産となり、
独占的にIOC・IPCに帰属し、組織委員会が管理・保護する。

12-6 東京2020参画プログラムマーク

【公認プログラムマーク】



【応援プログラムマーク】



12-7 文言やマークの使用イメージ

認証された
事業においては・・・

【文言の使用例】

<タイトル>

東京2020公認プログラム
○○○イベント

<説明などの文中で>

～オリンピック・パラリンピックに向けた●●●
を実施します～



ポスターやHPに



講演やステージの演出に



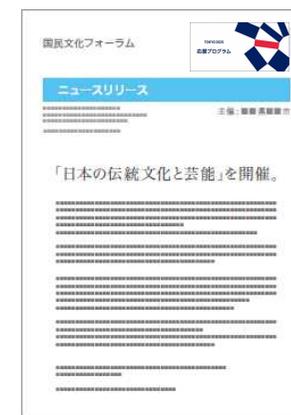
地域の動画に



ポスター例



のぼり旗



ニュースリリース

12-8 申請における留意事項

■ 参加可能性

- 幅広く、多くの方が参加できる企画である。

■ 非営利性

- イベント等が収益を目的として運営されていない。

■ マーケティングルール

- アンブッシュ・マーケティングを避ける。
- 新規調達の際、大会スポンサーからの調達を推奨。

■ スケジュール

- 主体登録申請、アクション申請、マーク等使用申請、それぞれの認証に申請から2週間が必要。

12-10 参画プログラムの現状

◆2018年度の主なプログラム

✓祭りプログラム

- ・地域の盛り上げのため、祭りを特別プログラムとして認証
- ・申請件数は大幅に増加
- ・主な申請団体は自治体
東北から九州まで広く開催され、夏祭りの申請が半分以上を占めた
- ・2019年度も実施予定



✓ホストタウンアクション

- ・内閣官房にてホストタウンに登録された自治体の、相手国との相互交流を図るイベント・事業を認証
- ・2018年1月から申請受付を開始し、2019年3月現在で63自治体からのアクションを認証
- ・事前キャンプや文化交流を内容とするアクションの申請が多数



✓500日前連携企画

- ・「500 Days to Go!」のキーワードをもとに、様々な500日前関連イベントを認証
- ・実施期間 3月1日(金)～5月6日(月)
- ・大会1年前の連携も実施予定



12-11 参画プログラムのクロージングスケジュール

◆大会直前における参画プログラムのスケジュールは以下のとおり

対象	アクション申請 受付終了	マーク等使用申請 受付終了	アクション実施
①応援プログラム (地方自治体が主体となる場合を除く)	2020年 3月31日(火)	2020年 5月29日(金)	~2020年 9月30日(水)まで
②公認プログラム及び 地方自治体が主体となる応援プログラム	2020年 5月29日(金)	2020年 7月22日(水)	
③応援プログラム(祭り)	2020年 5月29日(金)	2020年 7月22日(水)	

12-12 19年度祭りプログラムの新たな取り組み



- ◆ 2019年度祭りプログラムの受付を4月1日（月）より開始（受付終了は11月15日（金））
- ◆ 今年度は新たに以下取り組みを実施

取り組み内容

◆申請の簡素化

- ✓ 一括申請の受付開始
 - ・同一団体が、主催者または共催者となる複数の祭りを一括で申請することが可能
- ✓ 実績報告の簡素化
 - ・実績報告書と記録写真（任意）の提出に変更
（取組概要がわかる資料の提出：必須→削除、記録写真の提出：必須→任意に変更）

◆無償提供ツールの提供

- ✓ 会場装飾ツールとして祭りガーランドを、祭りの認証を受けた団体に提供

◆公式ライセンス商品の団体販売の商品追加

- ✓ 法被・うちわに加え、手ぬぐいを追加



（イメージ）

「東京2020大会カウントダウン連携企画」を参画プログラムに

【概要】

- 東京2020大会の3年前、1000日前、2年前期間中に参画プログラムを実施していただき、その中で連携企画を行っていただくことを推進
例) オリンピック・パラリンピック実施競技の体験会
アスリートによる講演会 等
- 今後も500日前、1年前、100日前イベント等を実施予定

例)2年前連携イベント



○特別マーク

東京2020公認マーク（「2 Years to Go!」入り）



東京2020応援マーク（「2 Years to Go!」入り）



7.13-

FRI

東京2020参画プログラム
2 Years to Go!

東京2020参画プログラムは、全国のあらゆる方々と共に、スポーツだけでなく幅広い分野の事業・イベントを通じて、東京2020大会の盛り上げに向けたオリンピック・パラリンピックの種目達成と、大会後のレガシー創出に向けて取り組むプログラムです。
大会2年前事業として参画プログラムに申請いただいた事業・イベントを紹介いたします。

みんなの輝き、つなげていこう。
Unity in Diversity



The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



The Worldwide Paralympic Partners



Tokyo 2020 Paralympic Gold Partners

